

2026年4月21日、牟礼中学校での中国ブロック研修会にて

【NPO法人 日本を美しくする会】

清風掃々

この時、この場所、このご縁、よりよく、美しく

54

「清風掃々」第54号
二〇二六年九月発行（年二回発行）
〒一六〇―〇〇二三
東京都新宿区西新宿六―一二―六―六〇一
TEL〇三―六三〇四―五八八〇
FAX〇三―六三〇四―五九九〇
発行／NPO法人 日本を美しくする会
編集／清風掃々編集室

会の情報をより身近に！
日本を美しくする会 LINE公式 はじめました。

日頃より、みなさまのたくさんのご尽力ありがとうございます。
この度、会の情報をより身近に入手いただけるよう、LINE公式をはじめました。
全国の仲間の素晴らしい活動をお互いに分かち合い力づけあっていきましょう!!

下記の二次元バーコードからご登録をお願いします。

年内 1,000名 登録目標！

2026.7.31 現在 609名

LINE公式の主な使い方

- 全国ブロック大会・定例会スケジュール（Googleカレンダー）
- 会報誌 「清風掃々 ONE by ONE」 Webマガジン
- 凡事徹底 鍵山掃除道とは 出版・動画の紹介
- 全国各地の活動報告
- 全国各地の開催案内
- サポートメンバー 賛助会員募集



https://lin.ee/iJr7Ebh
LINE ID：@747cffoq

※「＋追加」からご登録後、
最初のメッセージで「ひらがなフルネーム」
を送っていただくと正式な登録となります。



●「日本を美しくする会」の理念

「掃除を通して心の荒みをなくし、世の中を良くすることが私たちの心願です」

人は、いつも見ているものに接するものに心が似てきます。目の前の汚れたものをきれいにしましょう。とくに人の嫌がるトイレをきれいに磨くと、心もきれいになります。トイレ掃除は、「自分を磨くための」一番の近道で確実な方法です。

すべては一人から始まります。家庭や学校、職場、地域で、一人からでも掃除を始めましょう。そして仲間を増やしましょう。掃除をする人は汚さなくなります。

「一人の百歩より、百人の一歩」。人々が毎朝一斉に身の回りを掃除したら、日本中に心地よい風が吹き、穏やかな一日が始まります。そうなれば人々の心が美しくなり、日本はそして世界はかならず良くなります。

当会は2022年、〝SDGs宣言〟をしました。
本誌を読まれ、廃棄またはリサイクルに出されようとされる方には、「資源有効利用」のために他の方にお渡しいただけませんか。



「清風掃々」を手にされた方へ
どうぞ、どのページからでもお読みください。

ひろば・編集長就任のご挨拶

この度、編集長に就任いたしました時政和輝です。誌面をお借りして一言ご挨拶申し上げます。

まずは、七月二十八日に発生した熊本の震災により被害に遭われた皆様方に、心よりお見舞い申し上げます。一刻も早い復興と、皆様の平穏な日常が戻りますよう深くお祈り申し上げます。

歴史ある本誌の舵取りを担うにあたり身の引き締まる思いですが、至らぬ私を陰で支えてくださる編集スタッフの皆様に深く感謝申し上げます。鍵山相談役が残してくださった尊い掃除の活動を、さらに多くの方へ届けるべく誠心誠意尽力してまいります。

さて、今号の「佳書抄録」では、モラロジー研究所『道経塾』連載の「心あるところに宝なり」を抜粋でご紹介いたしました。新企画にあたりご協力いただきました冨田裕之様（モラロジー研究所）、鍵山幸一郎様に厚く御礼申し上げます。また、記事内の先人の名言を、共に掃除活動に励む百々海愛さんに美しく揮毫していただきました。名言の奥深さと、そこに込められた鍵山相談役の想いを汲み取っていただければ幸いです。

今後も皆様の実践がより一層深まる誌面づくりを目指します。温かいご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

清風掃々 第54号　2026年９月発行（年２回発行）	
発行　NPO法人　日本を美しくする会 〒160-0023　東京都新宿区西新宿6-12-6-601 電話 03-6304-5880　FAX 03-6304-5990 Eメール　nihonsouji@souji.jp ホームページ https://www.souji.jp/	発 行 人　冨田　浩志 編 集 人　時政　和輝 印刷製本　晃南印刷株式会社
賛助会員　個人　年間　1口　1,000円（3口以上） 賛助会員　法人　年間　1口　10,000円（1口以上） 口座名 特定非営利活動法人　日本を美しくする会	1.ゆうちょ銀行から 口座記号・番号：10030-44442691 2.ゆうちょ銀行以外の金融機関 店名：008 預金種目・番号：普通・4444269
＊ご入会は、まず事務局に連絡頂き、こちらから指示を差し上げてからのお振込みをお願いします。	

NPO法人
日本を美しくする会

この時、この場所、このご縁、よりよく、美しく

清風掃々

54

巻頭言　箸よく盥水を回す　日本を美しくする会 会長 冨田 浩志……2
委員会報告　……3
特　集　朴の森　……4
教育と掃除
SDGsと経営　福沢諭吉『学問のすすめ』は『掃除のすすめ』で締めくくられていた　山本　健治（大阪）……8
出会いを通して広がる掃除道　山﨑　敏哉（東京）……14
トピックス　「人を大切にする経営」で国内最大級の会計事務所に　古田土　満（税理士法人 古田土会計　代表社員）……16
互いに学び合った日台の絆　日本を美しくする会 相談役 田中 義人…20
能登復興活動報告　片山　孝志（富山）……22
大間々駅トイレ清掃一五〇〇回　郷土を美しくする会 松崎　靖（群馬）……24
名　言　「質を高める努力」　鍵山秀三郎……32

川柳こころの散歩道…23　ちいき通信……26　情報公開……30
会の名簿……34　ひろば……37



絵　鈴木砂予子

巻頭言

箸よく盥水を回す

日本を美しくする会 会長 冨田 浩志

このたびの熊本地方を襲った地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。熊本には、熊本、八代、人吉と三つの「掃除に学ぶ会」があり、共に活動する多くの仲間がおられます。被災された皆様のご無事と、一日も早く平穏な日常を取り戻されますことを、全国の仲間と共に心よりお祈り申し上げます。

三十一年前に、故・鍵山秀三郎相談役から教えていただいた言葉のひとつに「箸よく盥水を回す」があります。人間一人の力は小さく見えます。しかし、細い箸一本でも「たらい」の水を根気よく熱心に回し続ければ、最後には全部が大きな渦となって回り出します。すべては一人の覚悟、一人の決断から生まれ始まるのです。

二〇二五年度は、鍵山相談役のご逝去、認定資格の失効という重大事がございました。鍵山相談役の心願である「掃除を通して心の荒みをなくし、世の中を良くする」という志を次世代へ繋いでまいります。そのために、二〇二六年度は委員会活動など新たな体制で再出発し、会の充実とともに会員の拡大へと動いています。「箸よく盥水を回す」のように、確実に歩んでまいります。

これからも皆様方からのご意見を頂戴しながら、共に考え共に学び共に歩んでいく会でありたいと考えております。「一人の百歩より百人の一歩」の如く、掃除を通して地域や社会に貢献してゆきましょう。

さて、去る四月二五日、二六日に台湾美化協会の第二四回年次大会が開催され、日本から四十二名の仲間と共に、総勢三三〇名以上の参加者で実施されました。「人から人へと繋がり」、台湾では掃除活動が一つの大きな社会運動として広がり、しかも企業の社会的評価も高まって台湾の発展にも大きく寄与しております。掃除活動を通して、日本と台湾の両国がより良い国となっていく一助となることを強く祈念いたします。

委員会報告

「認定」取り下げや次世代へのバトンタッチなどの課題を受けて、全理事が一丸となった運営体制に一新されました。七つの委員会の委員長から、活動内容を報告します。

【会員拡大委員会：冨田浩志】

「一人の百歩より、百人の一歩」で、掃除の実践を通じて地域や社会に貢献してまいります。活動が発展・充実する為には、会員の拡大が必要と強く感じております。その先頭に立ってゆくのが、当委員会です。

【事業委員会：白鳥宏明】

会全体の調整役として円滑で調和ある運営を図るとともに、来秋に開催予定の「鍵山秀三郎氏 三回忌に思いを寄せた全国大会（仮称）」の企画・運営を通じ、鍵山相談役の生き方と掃除道を深め、次世代へつないでいきます。

【研修委員会：廣瀬透】

掃除実践と鍵山相談役の教えの両輪を学ぶ機会を提供していきます。皆様と共に今後も掃除を通じて社会へ貢献できるよう取り組んでまいります。

【財務委員会：塩貝久】

数字を通じて会の活動をサポートします。活動は次の通りです。

①ＮＰＯ法人会計に沿った財務　②経理の内部への取り込み　③予算管理　④月次決算の実施

【広報委員会：時政和輝】

掃除の輪を深く、広く！

①仲間の活動を共有し掃除の学びを深める　②全国・世界へ広がる感動を届け新しい関心をつくる。

今後はＨＰやＬＩＮＥの活用、会誌「清風掃々」の充実化を進め、当会の魅力を多くの人へ届けます。ワクワクする工夫を実行します。

【ブロック長委員会：渡辺栄司、小西敏之】

各地の掃除に学ぶ会との緊密な連携体制を構築します。そして、より効果的な活動支援ができるように、理事会へ提言します。

【海外委員会：田中義人、利哲雄】

今年は四月に台湾美化協会年次大会に参加しました。九月五、六日は奈良に台湾の皆様をお迎えします。掃除の学びを海外に発信すると共に、学んでまいります。

特集

朴の森

朴の森は、株式会社イエローハット西日本物流センターに隣接する広大な森にあります。ここでは、故・鍵山秀三郎相談役が伝えてこられた想いを、ご子息である幸一郎氏が研修、幼児教育などの形にして具現化されています。鍵山相談役亡き今、掃除を次世代に繋げていく大切な場所として、改めて紹介します。



1 朴の森の紹介

朴の森　鍵山 慎太郎

朴の森には、鍵山記念館、耕心の里、一隅の里、元氣の里、そして慈愛の里と、五つの施設があります。各施設には学びや健康、教育といったそれぞれのテーマがありますが、私は朴の森とは一言で表すと、『みなが笑顔で集える場所』。これに尽きるのではないかと思います。

よく私の祖父(鍵山秀三郎)が言った言葉の中に、「来る人には楽しみを、帰る人には喜びを」というものがあります。これはお客様を迎え入れる立場の人にとっては共通していることではありますが、朴の森でも大事にしていることです。

研修会に来られる方にとっては、「どんな学びがあるのだろう」とわくわくしながら来てもらい、研修会後には「来てよかったな」「こんなに収穫があって嬉しいな」と感じてもらえる場所であるよう、そして終始笑顔でいてもらえるよう、スタッフ一同努めております。

それはもちろん一隅の里でお食事をされる方や、元氣の里で運動をされる方にも同様にいえることです。

朴の森はたくさんの自然に囲まれ、そして何か特別な気持ちになれる場所です。またスタッフも仲間に会いたくて、足を運んでしまうような温かい場所でもあります。お客様もスタッフも笑顔で集える場所、そんな環境を維持していきたいと思っております。

ぜひ、朴の森に足をお運びになり、祖父の風を感じ、共に笑顔でいれたら幸いです。

2 活動紹介Ⅰ
牟礼中学校立志式～掃除実践～

朴の森 副代表　藤野 貴之

牟礼中学校と鍵山記念館(山口市掃除に学ぶ会)とのご縁は四年前に遡ります。当時の二学年主任の田中紀子先生と山口久美子先生(現学年主任)が、立志式に掃除を併せて実施したいとのご相談に鍵山記念館に来館されました。

生徒会掃除実行委員会を立ち上げ、「僕たちが下級生に教えられるようになろう!」と掃除研修を申し出いただきました。このメンバーは、高校生になっても鍵山教師塾や中国ブロック大会など、母校の掃除に参加されます。その思いを受け継いで、二学年生徒会中心に冬休みから掃除研修を開催して立志式に臨まれました。そして、鍵山幸一郎代表を来賓講師として立志式にご招待いただきました。式典では保護者に向けて報告会もされました。(参照：https://ho-no-mori.jp/?p=11492)



四年前に種子を蒔かれた先生方と卒業生。芽吹いてきたのを感じておられるようです。私もお手伝いできて光栄でした。素晴らしい感動ある式典にお呼びいただき、ありがとうございました。

3 活動紹介Ⅱ
中国ブロック研修会

中国ブロック長　小西 敏之

■開催日　四月十一日・十二日
■場　所　朴の森、牟礼中学校
■参加者　(研修)四五名
　(懇親会)三七名
　(掃除研修)七七名(内生徒二八名)



十一日の研修では、まず日本を美しくする会副会長の廣瀬透氏より、「認定ＮＰＯ法人に関して」「二〇二六年度、新たな体制で未来へ、再生への決意」「社会情勢を配慮して便器を傷めないための便器掃除」についての講話がありました。

その次に、鍵山幸一郎氏より講話。「トイレ掃除の実践は価値観を共有すること」「陰徳の人になること」「掃除の実践を通して、参加者に感動を与えているか?」といった内容で、掃除に学ぶ会がこれからの活動において、大切にしなければならない課題を示唆して頂きました。

その後、朴の森(鍵山記念館、耕心の里、慈愛の里、一隅の里)の見学を行ないました。随所に、鍵山氏の想いが散りばめられた施設は、在りし日のお言葉、所作を想い出させてくれる感慨深いものがあります。

中でも、鍵山記念館に併設されている山口市掃除に学ぶ会の道具置き場は、鍵山氏の掃除道・精神が伺える必見の場所です。より多くの方に見て、触れて頂きたい「聖地」です。

十二日の研修では、防府市立牟礼中学校の教職員・生徒・保護者、そして高校生になった卒業生も参加されました。お掃除を学校の文化として生徒が自覚している姿を目の当たりにし、参加者皆様が感動していました。

図書室には鍵山文庫として鍵山氏の著書や、廊下には「凡事徹底」の貼り紙があり、鍵山氏の想いが浸透していることがわかります。トイレも当初は匂いが酷かったそうですが、深呼吸ができるまでに変わってきています。

4 今後の抱負

「十年偉大なり、二十年畏るべし、三十年にして歴史なる」

朴の森 代表　鍵山 幸一郎

父(鍵山秀三郎)がたびたび引用していた、中国のことわざがあります。どんなに小さなことでも、十年続けたらそれは偉大であるということです。朴の森における掃除研修においても、小さなことを決して疎かにせぬよう説いています。例えば、カネヨンの注ぎ口に付着した汚れは、そのたびにふき取ること。きれいにして次の人に渡すことが習慣となれば、その人はやがて思いやりにあふれた人に成長すると思うからです。朴の森はそういった学びの場を、これからも目指す所存です。

また、自分たちのやっていることに賛同を求めるのであれば、相手に感動を与える必要があると思います。感動を与えるには二十年の歳月を、覚悟しなさいということでしょうか。

わたしたちは朴の森において、父から学んだことを広め、そして後世に伝えることを使命と謳っています。その使命を果たすには、二十年初心を貫く覚悟が必要だと思っています。

父は独立した当時、自転車で行商をしていました。それが東京証券取引所一部上場を果たすまでになった理由は、やはり信用ではないでしょうか。ただ会社の規模を大きくするだけに留まらず、自ら下座に下りトイレ掃除に取組む姿勢が、お取引様を感動させ、信用信頼につながったと思います。そして掃除は社内に留まらず、全国そして海外にも広がりました。まさに歴史を築いたと言えましょう。「この先三十年、朴の森が継続する土台作りを、わたしは行っている」と、奇しくもスタッフに言い伝えています。そのあとは時代に沿った運営をすることで、歴史を築いてくれることを強く願っております。

朴の森　鍵山記念館
(754-0894 山口県山口市佐山131-1-2)
TEL／FAX 083-989-3884
E-mail : info@ho-no-mori.jp
HP
HO_NO_MORI
インスタグラム

特集

福沢諭吉『学問のすすめ』は『掃除のすすめ』で締めくくられていた

山本　健治

無学の母が教えた掃除の大事さ

私は子どもの頃、小学校も満足に出ていない、世に言う「無学」の母から掃除の大事さを教えられ、家の便所や門口を掃除していたが、受験勉強とともにしなくなり、母が亡くなった十八才以降はまったくしなくなっていた。しかし一九八〇年代末、日本がバブル経済で舞い上がっていた頃、鍵山秀三郎さんがバブルを戒め、「凡事徹底」を語られ、毎朝掃除されているのを知り、掃除を再開し、一九九五年一月の阪神淡路大震災でボランティア活動した後からは仕事場前のＪＲ新大阪駅東口駅前広場を毎朝掃除させてもらうようになり、おかげさまで二一年が過ぎた。

いま時代はＩＴ時代、人工知能＝ＡＩが登場し、新たな「学問のすすめ」が必要との声もある。私もそう思わないわけでもないが、いまた株価や不動産価格が上がってバブル状態になっている。昔のように舞い上がると間違いを繰り返す。かつてバブル時代に警鐘を乱打された鍵山さんのような人が、いまおられないのが残念という以外にない。私たちは鍵山さんの教えを実践するしかないが、その手引きとして『掃除のすすめ』が必要だと思い、おこがましいことを承知の上で書こうと思い、その手本として約一五〇年前、日本が封建の迷妄から脱出、近代の扉を開き、新たな国づくりをはじめた頃、福沢諭吉が書いた『学問のすすめ』を参考までに読み返すことにした。

「天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらずと言えり」

誰もが知っているとおり、「天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらずと言えり」から始まり、人はみな平等であるはずだが、富める者もいれば、貧しい者もいる。それは学問するか、しないかによっていると書き、みんなに学問をすすめた。学生時代に読んだときには掃除のことなんか書いていなかったと記憶しているのだが、掃除について何かふれていないか、初編から最後までしっかり読み返した。それで最後の十七編で、掃除をすすめていたことに気がつき、いいかげんな読み方をしていたことを反省しないわけにはいかなかった。亡母が子どもの頃に教えた掃除を続けていたら見落とすことはなかっただろうと思うと、二重にも三重にも反省しないわけにはいかなかった。

福沢諭吉は『学問のすすめ』の最後の「十七編　人望論　第二」で「顔色容貌を快くして、一見、直ちに人に厭わるることなきを要す。…人の顔色はなお家の門戸のごとし、広く人に交わりて客来を自由にせんには、まず門戸を開きて入口を洒掃し、とにかくに寄りつきを好くすることこそ緊要なれ」と書き、難しい顔をしたり、掃除をしないのは「入口に骸骨をぶら下げ、門前に棺桶を安置するがごとし」で、誰が近づいてくれるかと書いていた。『学問のすすめ』は「洒掃（さいそう）＝掃除のすすめ」で締めくくられていた。学生時代の私はこれを読み落としていた。そもそもしっかり読んでいなかったのだった。

「掃除は、ホウキの上に人をつくらず、ホウキの下に人をつくらず」

この反省を踏まえて、改めてしっかり読み返し、心に留めおくべきことを確認しようと考えた。「天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらずと言えり」で始まることは『学問のすすめ』を読んだことがないものでも知っているほど有名である。当時、西欧では当たり前になっていた民主主義の考えにもとづき、人は本来みな平等であるはずだが、現実には富めるものもいれば貧しいものもいる。この差は、何故生じるか、それは学問するかしないかによるとしているのだが、明治維新以降も依然として身分差別はあり、誰もが望む職業に就けたわけでも、したいことができたわけでもない。そもそもすべての人が教育を受けられる状況にはなかった。底辺を支える仕事をしている人に対する差別はひどかった。いまもそうである。だから、まず我々は「掃除はホウキの上に人をつくらず、ホウキの下に人をつくらず」であるべきだと思う。

第二編では「学問は単なる読書ではなく、実用的な知識を身につけ、社会で活かすことだ」と書き、学問で培われる「独立心」が個人の尊厳と社会発展につながると書いたが、私は「掃除は単なる日常作業

ではなく、人が生きるために不可欠の日常実用作業の出発点であり、これができるようになれば独立人格としてさまざまな仕事を担える。掃除が出発点、掃除された状態が到達点であると思う。

第三編では国家も個人と同様に平等、強国が弱国を圧迫してはならないとし、そのため正義と道理を基本にすべきだとしたが、問題は実行されるか否かである。誰もが気持ちのいい静かなところで生活したい。そのためにはまず掃除だ。

学問に官も民もない

第四編では多くの学者が政府(公)で働こうとするが、文明を進めるには政府だけでは不十分、私立(民間)も重要と記したが、そのとおりで学問、研究を進めるためには静かで美しい環境が必要である。ゴミや汚れには官も民もない。学者・研究者が率先して掃除することによって生徒、学生も掃除するようになる。官民一体となって掃除するのが当たり前という世の中にすべきではないか。書籍、研究資料と同様にてホウキ、ゾウキンを大切にする学者、教育者であってほしいと思う。

第五編では学問は深く掘り下げ、社会貢献することだとした。そうならまずゴミ、汚れは何か、なぜ生じるかを究明し、掃除することである。掃除せずいくら立派なことを言ってもダメである。

第六編で法律の重要性、法律順守の重要性を記し、裁判は政府が行い、敵討ちなど「私的制裁」は社会秩序を乱すとした。傷つけあったり、殺しあったり、他人の物を奪ったり盗んだりしない心の形成が基本であるが、その出発点は「ゴミを捨てない」「汚さない」「壊さない」「汚したらきれいにする」である。

気持ちのいい国にする出発点は掃除、総理大臣も掃除を

第七編で「国民とは何か」について記し、国の一員としての「民の存在」、言うならば「客」の立場と、それに対し国のあり方を定め、それを動かす「主人」の立場の両方を持っているとした。私たちは国と社会の一員の自覚を持ち、おたがい平和で静かに気持ちよく健康にくらすために努力することが大切であるが、その出発点は総理大臣も、みなといっしょに掃除することではないか。

「掃除に学ぶ会」のメンバーには現職の国会議員もいるし、現首相は「松下政経塾」で学んでいた当時、熱心に掃除していたと聞く。いま改めてその時のことを思い出し、掃除と学問・研究が同等の大切さを持っていることを世間に知らしめてほしい。

第八編では「名分(身分、地位)の弊害」を記し、不平等を生み、社会の発展を妨げると批判した。そのとおりで、掃除すること、掃除する人を蔑視したり、差別しない社会にしなければならない。そのためには、みながいっしょになって掃除することである。福沢諭吉に欠けていたのは自ら掃除するという意識と実践であった。

第九編では学問は生活の糧を得るためと、世のため人のためという両面があるとした。掃除も同じで賃金労働であると同時にみなが気持ちよくなるためであることは誰もが認識できるが、掃除をすすんでするものはそんなこと無意識にやっている。

第十編では学問は単なる読書ではなく、実践的知識と技能を身につけ、真の実学を身につけることだとし、個人の立身出世ではなく、国と社会の発展に貢献することだとし、西洋に追いつき追い越すため学問が大切だと書いたが、日本がどの国より掃除が行き届いた気持ちのいい国だと評価されていることを考えると学問と同時に掃除も大切だということを理解すべきだろう。

第十一編では「怨望(えんぼう)(怨嗟(えんさ))の害」を記し、他人を妬んだり、悪口を言い合ったりしないようにすべきと書いたが、学問も、学校教育も、成績主義、競争主義の面を持っている。これをなくすことが一番で掃除には上もなければ下もない。真剣に心みがきしたか否かである。

第十二編では演説の重要性を書いたが、下手をするとヒトラーのような扇動主義になる。大事なことは心をこめて訴えることで、演説技術ではない。掃除も上手、下手は無関係、どれだけ心をこめて行うかである。

人望を得るためには玄関や家を洒掃(掃除)せよ

第十三編では「世話」について記し、助ける側面と自立させる側面がうまく組み合わさって成果をあ

げるとした。掃除も人のためにする側面と自分のためにする側面とがある。「掃除はひとのためならず」である。「ためにする」掃除はいやらしい。

第十四編で「心事の棚卸し」を提起しているが、心の掃除の必要性を記したものである。

第十五編では疑うことの重要性を記し、合理的に疑うことが真理の発見につながるとし、科学の発展は疑いの精神から生まれたことを例に挙げた。私たちの掃除の反省の提起でもある。

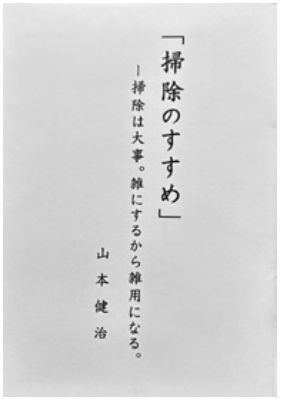
第十六編は「独立精神」について記し、経済的、精神的両面の独立の重要性を説き、カネや贅沢品、酒の誘惑に負けるなと書いた。福沢は大の酒好きで失敗したこともあったからだろう。

そして第十七編で「人望論」を書き、先に書いたように、人望ある人物でなければ、学者、研究者、教師としては十分ではなく、他の人が気軽に自分の家に訪ねてくれるような人物でなければならない。そのためには玄関や家を洒掃（掃除）すべきであると「掃除のすすめ」も書いた。掃除の精神性や教育上の効果などは記していないが、掃除のすすめで締めくくられていたことを学生時代の私は読み落としていたのだった。

無学の母が教えた掃除の大切さを忘れ、掃除しなくなっていた結果である。やはり『学問のすすめ』も大事であるが、「掃除のすすめ」がもっとも大事であることを思わないわけにはいかなかったのだった。



筆者　山本健治（やまもとけんじ）
一九四三年大阪府生まれ　フリーライター。著書に『掃除が変える　会社が活きる』『たかが掃除と言うなかれ』『すべての一歩は掃除から』（以上、日本実業出版社）、『ホウキとヤルキ』『便所掃除はお金を払ってでもさせてもらいなさい』（以上、三五館）
連絡先　（533-0033 大阪市東淀川区東中島1-20-12-1107）



パンフレット紹介

『掃除のすすめ―掃除は大事。雑にするから雑用になる』

毎朝、ＪＲ新大阪駅東口駅前広場を掃除されている大阪の山本健治さんが、三十一年続けているのを一つの区切りとして、その掃除から学んだこと、あるべき掃除について、福岡県博多市を中心に掃除だけではなく、さまざまな活動を通じて人としてのあるべき生き方について実践活動されている「ＮＰＯ法人福岡実践人」、「福岡掃除に学ぶ会」の皆様に講演されたことを『掃除のすすめ』としてまとめられ、六月初めにパンフレットにされました。

書かれていることは、掃除を教えたお母さんの奉公での掃除修行から、そこでお母さんが学ばれた掃除のあるべき姿、それを受験勉強などですっかり忘れていた自らの反省、そして掃除の大切さを思い出させてくれた三十数年前のバブル期の株式会社ローヤル創業社長・鍵山秀三郎さんの警鐘乱打と実践の重要性。

こんなことでは日本の経済は破綻する、それよりも何よりも日本人の心が壊れてしまうと憂い、「凡事徹底」の大切さを訴え、「毎朝清掃」を実践されたことの重要性を記され、その実践に心を動かされ、自らも掃除を再開し、阪神淡路大震災でのボランティア活動後、毎朝掃除するようになった経過、さらに大阪読売広告や村田製作所での掃除経験、掃除を因数分解すると「５Ｓ」であると企業現場における「５Ｓ活動」の他、「掃除に学ぶ会」の「に」の意味を掘り下げられたり、昔から伝えられている掃除に関する「道歌」なども収録されています。私たちの心みがきに参考になることがまとめられています。

福岡の人たちや、その前に講演をされた「岩手掃除に学ぶ会」の人たちを中心に配布されていますが、読みたいという人がおられましたら送られるとのことです。山本健治さん宛に直接ご連絡ください。

（編集室）

教育と掃除

出会いを通して広がる掃除道

東京便教会代表　山﨑　敏哉

埼玉便教会の村田陽先生とのご縁がきっかけで、日本を美しくする会を紹介いただきました。平成二十三年頃から村田先生の活動に参加することを通して、鍵山相談役の生き方に学ぶようになりました。

それまでの私は、立派なことを教室で子供たちに言っておきながら、家に帰ると部屋は荒れ、生活は乱れきっているありさまでした。まさに「言行不一致」でした。「見ているものに心は似てくる」の言葉にあるように、自分の部屋や教室が荒れていたので、自分や子供たちの心も荒れていたのだと気付かされました。これではいけないと思い、自分を変えようと決意しました。

自宅から徹底的に片付けを始め、同時に荒れていた教室も手をつけました。教室が常にきれいな状態であると不思議なもので、クラスが落ち着いてきました。何より、自分が穏やかに教室に立ち、授業と仕事ができるようになっていました。

平成二十七年、日本を美しくする会の阿部豊さんより「東京便教会を始めてほしい」との依頼があり、平成二十八年三月に東京便教会がスタート。千種敏夫さん、阿部豊さん、東京掃除に学ぶ会の渡辺栄司さん、藤岡利雄さん、村田先生、便教会発起人の高野修滋先生をはじめ、愛知の便教会の皆様もわざわざ駆けつけてくださいました。その後、日本を美しくする会主催で、前任校でトイレ掃除大会を実施していただきました。

平成二十九年四月、現任校に異動。何かのタイミングで授業中にお掃除の話を子供たちにしたところ、ある子が「そのお掃除って僕も行けるんですか?」と質問がありました。小学生ですので、保護者同伴ならぜひ一緒にと、周りにも呼びかけ、有志の数家庭が新宿駅前の掃除に参加してくれるようになりました。

そのうち、「自分の住んでいる町も掃除したい」という声が子供たちからあがってきました。それならと思い、校舎周りの清掃を始め、月に一度、勤務校の最寄駅の清掃活動も始めました。最初は五、六人の活動でしたが、同僚の中にも賛同してくれる教員がいて、今年で十年目です。今では保護者と小学生、時には卒業した中・高・大学生も参加するようになりました。



令和五年からは、鍵山幸一郎さんのもと、朴の森で鍵山教師塾を行うことになり、実行委員長をさせていただくようになりました。朴の森では、広島掃除に学ぶ会の井辻栄輔さんより、鍵山相談役の「心願」について学び、朴の森のスタッフの皆様の心配りから鍵山相談役の生き方を学んでいます。

鍵山相談役の「心願」には、『いまわたくしの願いは学校長のご理解を得て　職員先生やＰＴＡそして　地域の方々のご協力をえて　各地の学校のトイレを　徹底的にキレイにすることです』とあります。これを実践することが自分の役割だと思い、駅前清掃終了後、続けて勤務校でのトイレ掃除も始めました。月に一度、子供たちと共にトイレ掃除を継続しています。

村田先生とのご縁がなかったら、鍵山掃除に出会っていなかったら、自分はどんな生き方をしていたのだろうか…と思うことがあります。おそらく、ずっと鈍感で、気づく力がない人間だったと思います。お掃除のおかげで、少しはましな生き方ができるようになったのかなと思いつつも、まだまだ足りないことだらけの自分です。これまでの多くのご縁に感謝し、自分の持ち場でできることを常に模索しながら、「掃除に学ぶ」という軸をぶらさずに実践を積み重ねていきます。

（201-0013狛江市元和泉1-19-4-210）
mt.toshiya1225@gmail.com

SDGsと経営

「人を大切にする経営」で国内最大級の会計事務所に

―中小企業に、お金の儲け方・お金の残し方とよい社風を教える―

税理士法人 古田土会計　代表社員
古田土（こだと） 満（みつる）



日本では「熱意あふれる社員の割合」は何％か？

世界145か国の平均は23％で、日本は最下位の6％です。（2023年米ギャラップ社）

その主な原因は、働く「人」を「売上」を得る手段としている企業の姿勢にあります。社員は自分が大切にされている実感はわかず、仕事への熱意も持てません。

古田土の経営理念

中小企業を元気にするには、会社がもうかり社員の給料が上がることです。経営理念を「社員の幸せの追求」と「人づくり」そして「お客様に喜ばれ、感謝される」としました。

自社の利益のみを追求する経営は間違っています。私はいつも「どうしたら社員とお客様が喜んでくれるか」と考えています。私がこのように考えるようになったのは、倫理法人会の朝起き会と経営危機、そして鍵山秀三郎さんとの出会いなどがあると思います。

30歳で独立する

私は監査法人に3年半勤めましたが、監査の仕事が肌に合いませんでした。1983年（昭和58）「古田土公認会計士事務所」開業。経営とくに経営計画と資金運用を勉強しました。

合併で社内が割れ危機に

開業2年で正社員の採用を始めましたが、なかなか定着せず悩みました。そんなときに、監査法人時代の先輩からの話で、事務所の力が増すと思って1986年合併しました。しかし結果は逆で、社内は分裂し半年で解消しました。先輩と多くの社員が去り、会社は運転資金に窮し危機に直面しました。残った部下と再出発します。

「一生、社員と家族を守る」

1990年春、次の危機が訪れました。社員が3台の車に分乗してバーベキューに行く途中、1台が運転を誤り大事故を起こしたのです。3人が負傷し、1人は片足を切断する重症を負いました。何人かの社員が辞めました。「今度こそ駄目かも」

謝罪の面会に行きますが、本人とご家族に拒まれました。半年間毎日病院に通いました。そのとき私は、会社にとって一番大事なのは売上や利益ではない、どんなことがあっても社員とその家族を守る、と決心しました。そして経営計画書に次の言葉を書き込み、以後書き続けています。

「一生、あなたと家族を守る」

大切な社員を事故に遭わせた大失敗が、現在の当社の「人を大切にする経営」の原点となりました。

（後日譚）社員さん（当時27）は深刻な障がいを負いました。当時付き合っていた男性がいい方で、2人は結婚することになり、私も結婚式に参列させてもらいました。申し訳ない気持ちと彼らの将来を祈る気持ちでした。彼女はその後在宅で勤務を続けてくれて、50歳の時にパート勤務になり、現在も働いてくれています。その間正社員の給与・賞与をお支払いしました。

古田土のサービスの特徴

「全国約300万社のうち、赤字企業は64・2％、黒字企業は35・3％」（国税庁2024年度）一方、古田土のお客様の66％が黒字です。

① お金の儲け方・残し方を教える

決算書を「どう読んだらいいかわからない」という経営者が多くおられます。成長企業の経営者らに共通することは、数字に強くその読み方を身につけていることです。

私は、独立当初月次の損益計算書を切り貼りし、横に比較する表をつくり、説明するサービスを始めました。さらに、変動損益計算と月次推移損益計算書を一体化させ、儲ける方法を提案しました。するとお客様は、「数字がわかるようになった！」と大変喜ばれました。これが「古田土式月次決算書」です。

「古田土式月次決算書」と「経営計画書」

大企業は四半期決算をしますが、中小企業でもやるべきです。そのための「古田土式月次決算書」です。計画と実績の差を毎月フォローし、数値的な対策を打つ―これが正しい経営のやり方です。

当社では、専門スタッフが専門用語を使わずに、数字を「見える化」します。倒産会社の共通項は、「売上不足と資金不足」です。財務体質がしっかりしておればつぶれません。経営者の仕事は、



未来の事業をつくることです。そこで、私たちの合宿研修の柱は「中期経営計画」の作成です。

現在３３００社以上のお客様のうち、約１２００社が「古田土式月次決算書」を導入し、約３００社が「経営計画書」を作成しています。今の「会計顧問」はそのままで、あらたに財務のアドバイスを聞ける「財務顧問」という新市場を開拓しました。

世の中にない商品を開発し、これらを使って創造的なサービスをおこなってきました。厚生労働省や経済産業省から、いくつもの賞をいただきました。

②よい社風をつくる

人の心が通い合うよい習慣を身につけると、「よい社風」ができます。

挨　拶

当社は「相手を元気つけること」と定義し、「目を見て」「笑顔と笑声」で挨拶します。会社でいつもやっていると、どこでもできます。社員が笑顔になりお客様にも好かれます。

掃　除

毎朝社内や会社周辺を掃除します。自分や人様が汚したところを整える行動は、心を磨き、謙虚さと、感謝の心を育みます。さらに仕事の仕方を考えるので、気づく人間になります。掃除は単なる美化が目的ではないのです。

朝　礼

朝礼は、「訓練の場」です。百戦錬磨の中小企業経営者と、短時間で話を聞き、言いたいことを伝える力をつけることは重要です。「志の唱和」「本気のじゃんけん」「3分間スピーチ」などを15分おこないます。毎年約３００名の見学者があります。

③人財を育てる

まず、挨拶・掃除・朝礼などの良い習慣をつけ、「人間性を高める」教育です。もう一つは、「古田土式月次決算書」などの「お客様満足の向上」の技術教育です。

人を大切にする経営

自転車は、後輪が動かなければ前に進まず、社長がハンドル操作を誤れば自転車が倒れるように会社は倒産します。社長は、全力で後輪（ＥＳ従業員満足）を漕ぎます。後輪が回ると、前輪（ＣＳ顧客満足）が前に進みます。ＥＳを向上させれば企業は成長します。


朝礼の様子

私は、坂本光司先生の「人を大切にする経営」の趣旨に賛同し、学会の理事です。日本の中小企業を元気にする活動に、参加させてもらっている幸せを感じています。

社員の成長

新入社員には、２つ約束してもらいます。１つは、初給料でご両親に親孝行すること、「人を喜ばす」を親相手にやるのです。もう１つが、年２回イエローハット創業者鍵山秀三郎さん創唱の「日本を美しくする会」主催のトイレ掃除への参加です。

また、経営計画の核は、社員の未来像と事業の未来像を一致させることです。社員の目標を「成長のステップ」で設定し、次を目指す社員をサポートしています。

給料・福利厚生

坂本先生は「年齢の約15倍が目安、20倍が理想」といいます。当社では、大企業並みには出せていると思います。私は、社員さんにより高い給料を出せることが喜びです。

なお、古田土家の株保有率は、以前の71％から今は14％です。自己資本は約30億円ありますが、株式を社員に額面(一万円)で売却しました。私は「会社は皆のもの」といっている手前、言うこととやっていることを一致させています。２年に１度の国内外の社員旅行や、子どもができた場合の家族手当もあります。

会社は利益を出さないと、社員と家族を守れません。やはり利益を出すことが大事です。社員と家族のために儲けて内部留保するのです。自分のためではありません。

情報公開　社長の給料は非公開で、働いていない家族に給料を払っている会社は多いです。当社では、全社員に月次のＢ／ＳやＰ／Ｌを配付し、総勘定元帳は休憩室に常備しています。私や社長の給料もオープン。トップが公私混同しないようにするためです。社員との食事では、領収書はもらいません。月次決算と経営計画書により、社員は数字を見て考えるようになりました。数字は公開すべきです。社員のモチベーションが上がり成長します。

障がい者雇用　現在12人が健常者と机を並べて仕事をしています。

地域貢献　障害者施設や子供食堂等に毎年８百万円位を喜捨しています。

社員がこの会社で働いてよかったと思い、お客様から信頼してもらえる誠実な会社であるよう、全社員で取り組んでいます。

トピックス

互いに学び合った日台の絆
―第二十四回台湾美化協会年次大会に参加して―

相談役　田中　義人

台湾美化協会の第二十四回年次大会が、四月二十五日・二十六日に開催され日本から四十一名の仲間と共に参加いたしました。前日の交流会は第一回大会の行われたユナイテッドホテルで、翌日の掃除実習は松山文創園区で行われ、参加者は三三〇名にのぼりました。

私は、台湾美化協会の立ち上げ当初から毎年参加してまいりましたので、今回の大会にはひとしお感慨深いものがありました。

台湾での始まりは、二〇〇二年、今は亡き鍵山秀三郎相談役が台湾イエローハットの関係で訪台された時のことです。当時、台湾イエローハットを経営されていた統一超商の社長でもあった徐重仁さんとの出会いから始まりました。

初対面の折、徐さんが「鍵山さんのご趣味は何ですか」と尋ねられたところ、鍵山相談役は「トイレ掃除です」と答えられました。その言葉に徐さんは大変驚かれましたが、鍵山相談役の掃除道のお話に深く感銘を受け、早速、二〇〇三年から統一超商グループで掃除活動に取り組まれることになりました。

当時、統一超商グループは台湾全土にセブンイレブンを展開し、急成長している時期でした。多くの社員の皆さんが掃除活動に参加されるようになり、その後、セブンイレブンの業績はさらに向上しました。また、店舗周辺が美しく整備され、治安も良くなったとの声も聞かれるようになり、社会的評価も高まっていきました。

その広がりの中で、二〇〇七年六月、台湾で一万五千人規模の世界大会が開催され、日本から五五〇名が参加したことから、台湾社会に大きな影響を与えるものとなりました。



イラスト　秦 由見子



その後、徐さんが統一超商グループを離れられたことで、台湾美化協会の活動が低迷するのではないかと心配された時期もありました。しかし、台湾美化協会の理事の皆さんの中から、「これからは自分たちの力で、さらに広げていこう」という強い機運が生まれました。そして、理事の皆様の企業を中心に、各種団体や大学にも呼びかけ、掃除活動は一つの社会運動として大きく広がり、今日を迎えています。

この間の活動を通じて共通して語られたことは、掃除活動を会社に導入することで、社員の意識が大きく変わり、人間関係が良くなり、業績の向上にもつながってきたということです。また、こうした活動が社会に良い影響を及ぼすことで、企業の社会的評価も高まり、台湾の環境美化の普及に大きく貢献してきたことです。確かに、二十年前と比べると、今日の台湾は見違えるほど美しい街になってきたと感じます。

この間、日本を美しくする会と台湾美化協会は、春には台湾年次大会、秋には台湾からの日本研修という形で、相互に学び合い、信頼を深めてきました。特に東日本大震災の折には、台湾美化協会から多額の義援金をいただき、東北復興のために役立たせていただきました。

これからも私たちは、鍵山掃除道を通じて、共に助け合い、学び合いながら、日本と台湾の両国がより良い国となっていく一助となることを強く願っております。

能登復興活動報告

おやべ掃除に学ぶ会　片山　孝志

二〇二四年一月一日十六時十分、石川県能登半島でM七．六、最大震度七の大地震が発生。直後、水道管破損で出動し、夜中零時に帰宅。翌日も再び水道管破裂で出動。ようやく帰宅すると、兵庫の木南一志さんから、救援物資を大型トラック三台に積んで出発したとの連絡が入りました。翌朝三時半に起床し、現地までの道路を事前確認してから合流して案内しました。のと里山海道はレスキュー部隊の行列で大渋滞でした。この日も水道管破損で駆けつけ、帰宅は夜中二時を過ぎていました。



九月二十一日、能登豪雨が発生。小松在住の作家・山元加津子さんから連絡が入り、輪島市町野町の自治会長を助けて欲しいと頼まれました。道中の災害現場を見て、「何かをしなくてはいけない」と心を決め、以降片道三時間かけて毎週三回通うことになりました。

町野町では、広島のお店をたたんで移住しボランティアをされている佐渡忠和さんのお手伝いをしてきました。旅館海楽荘の土砂出し、創建千三百年の岩倉寺の解体・仏像救出、民家解体、また仮設住宅の皆様への炊き出しイベントも数回開催しました。最近は、塩田の復活に取り組んでいます。



佐渡さんは町野町の郵便局の年賀状販売に力を入れられ、その呼びかけに、全国の掃除に学ぶ会の皆様が沢山応えてくださいました。日本を美しくする会、佐渡さんには、心より御礼申し上げます。復興はこれからです。また、お力をお貸しください。ありがとうございました。

（939-1665　富山県南砺市小山311）

川柳こころの散歩道（15）

かつて、ランドセルといえば、男の子は黒、女の子は赤と決まっていました。なんの疑問も不満もなかった、今は昔のお話ですね。

川柳ワンポイントアドバイス

「お題に忠実になる」

△この判で赤の他人になっていく

（大阪市／伊藤憲男）

たった十七音の中にドキッとするドラマと心情をも読み取れる良い句、雑詠なら入選句です。ただ今回はお題があり、川柳は題に忠実に詠むことが原則。今回は「赤」なので、色としての「赤」を詠むことが必要でした。「赤の他人」の「赤」は色のことではなく「明らかな」という意味を持つ接頭語。赤っ恥、赤裸々などの言葉も同様で、色のことではありません。

＊お題「赤」入選作

太陽が真っ赤に燃えた昭和だぜ

（大阪市／池永重彦）

・「熱血」「ド根性」は今や死語。それでも昭和を知る男は真っ赤な太陽を追いかけて叫びたくなるのです。下五語尾「だぜ」の一層の昭和感がグッド！

昨日まで幸せだった赤い薔薇

（大阪市／伊藤恵子）

・恋する女の心はころころ不安定。昨日はあれほど香り高く誇らしげだったのに、今日は力なくうなだれる、薔薇も私も。

掌に真っ赤な血潮透かしだす

（松戸市／佐藤　誠）

・いま確かに流れるこの血潮に、ふと生きていることが、当たり前ではなく奇跡に思えてくる瞬間。

朝焼けと夕焼けの赤焼きつける

（東京都／品田美幸）

赤ダルマ片目で僕を見つめてる

（神戸市／小原英樹）

焼香の列に目立った赤い爪

（草津市／宇野弘子）

百寿です赤面さえも忘れます

（京都市／平　里彩）

立ち上がり赤い炎が見えてくる

（大阪市／川端日出夫）

55号お題「空っぽ」（12／15締切）
s.f777.ikenaga@gmail.comまで。
ご一緒にLet's川柳！
中川千都子（なかがわちづこ）
心理カウンセラー、川柳作家。
川柳専門誌『現代川柳』編集長

大間々駅トイレ清掃一五〇〇回

郷土を美しくする会　松﨑　靖

「郷土を美しくする会」のわたらせ渓谷鐵道大間々駅トイレ清掃は四月十日に一五〇〇回の節目を迎えました。同トイレ清掃が始まったきっかけは、一九九七年七月に地元商工会が開いた勉強会で、東京から来た講師に、「大間々町は自然豊かで観光資源に恵まれているけれど、駅前のトイレが汚い」と指摘されたことでした。この言葉に、婦人服、服飾雑貨販売の足利屋洋品店を経営する松﨑靖さんはじめ、商店主ら六人が発奮しました。翌二十五日朝に集まって、以来毎週金曜日午前九時の掃除が恒例となったのです。

活動を始めて半年ほどたった真冬に転機が訪れます。その日の朝は大雪で車が走れない状況でした。「きょうは誰も来れないから掃除は諦めよう」と、松﨑さんは店前の雪かきをしていました。すると、大間々駅の方から掃除道具が入ったバケツを持った仲間が歩いてくるではありませんか。松﨑さんは、掃除を終えて帰っていく仲間の背中を見て、自らを恥じました。「後ろ姿が神々しかった。こういう仲間とやっているんだから、何があっても続けるぞ」と、決意が固まったのです。以来二十九年、大雪や台風、新型コロナウイルス禍でも一週も途切れることなく続け、一五〇〇回を迎えました。

この日は、毎週参加のレギュラーメンバー十人に加えて、松﨑さんが三十一年間毎月発行し続けている地域情報紙「虹の架橋」の読者でもある掃除仲間が全国から集い、三十七名の賑やかな記念清掃となりました。トイレの便器だけでなく、床やタイルマット、天井の隅々まで丁寧に磨きました。地元の新聞社も取材に見え、広く報道されました。

「郷土を美しくする会」の名付け親は、上州手振りうどんなど乾麺を製造する星野物産㈱先代・星野精助さんです。「便所掃除だけでなく、この町が美しくなるような活動を続けて欲しい」という願いが込められています。発会式には鍵山秀三郎相談役も出席され、お亡くなりになるまでに大間々には十三回もお越しになりました。二〇一四年には九十九歳で亡くなられた星野精助さんのお墓参りに来られ、星野物産の葛葉茶寮で「郷土を美しくする会」と昼食懇談会を開かれています。

その時の講話の中で、「常々、星野精助翁のような人になりたいと思い、大間々へ来るのが楽しみでした」と、共に逆境を乗り越えた人にしか到達できない人生の境地を話されました。鍵山相談役は、月刊『致知』でも、「私が人生の手本と仰ぐ方でした。融通無碍という言葉はこの人のためにあると言っていいでしょう」と書いておられます。



2011年7月道楽園にて、山岡鉄舟の書を背景に
星野精助氏（左）と鍵山秀三郎相談役（右）

「郷土を美しくする会」の活動は、毎月第二日曜日は赤城駅トイレ清掃、毎月一日はながめ公園清掃と広がり、更にその輪は県内各地に広がって二〇一五年に「桐生を日本一美しい街にする会」が発足、桐生・新桐生・西桐生駅の清掃にも取り組んでいます。最近は若い人も参加するようになりました。「仮にきれいにならなくても、便器を磨くことで自分自身が磨かれる。これからも掃除を通して人とのつながりを深めていきたい。掃除に限らず、まちの良さを感じてもらい、次の世代につなげたい」と話されました。

一五〇〇回記念清掃の日、鍵山相談役が毎回履かれた長靴と写真を飾り、感謝を込めて活動の継続を誓いました。

（取材　編集室）



ちいき通信



東北　多賀城掃除に学ぶ会

「今度の実行委員長は市岡さんだからね」と小畑貞雄代表から突然の指名。面食らい「えっ…はい」と返事に二秒かかった私に、すかさず「返事は〇・二秒。イエスか、はいか、喜んで！」と返されました。頭でわかっていても実践は別物。そう痛感して迎えた七月四日、多賀城市立八幡小学校のお掃除実習には、県外から六名、総勢五十名が集まりました。多賀城市では、森信三先生のしつけの三原則「挨拶」「返事」「後始末」に「掃除」を加えた人としての根っこづくりを大切にしています。当日は多賀城の未来を創る子供たちも参加し、大人と共に本気で便器に向き合いました。「〇・二秒の返事」と「掃除」で大人も子供も笑顔で変わる、そんな多賀城の面白い挑戦をこれからも「はい、喜んで！」と進めてまいります。

（市岡良庸　多賀城市教育委員会教育長）

関東　栃木掃除に学ぶ会

日光は、日光東照宮、日光二荒山神社、日光山輪王寺からなる二社一寺と称され一九九九年に世界遺産に登録されています。当会は二〇〇〇年から「日光二社一寺 世界遺産掃除大会」をオリンピック毎に開催し、二〇二三年からは一ヶ所ずつ年次大会を開催しています。今年は日光東照宮で、七月十二日に全国から一〇六名が参加されました。参拝客が来られるまでに掃除を終えるよう、朝五時から境内のトイレや石畳を心を込めて磨きました。「スタッフの人数は多くないのに、準備が行き届いている」「手作りの座布団、お弁当箱の直筆メッセージなどおもてなしに感動」といった温かい言葉は、世話人には何よりの励みです。掃除で美しくなるのは、人の心や人とのつながりでもあることを実感した大会でした。

（日下部光一）





関東　神奈川掃除に学ぶ会

昨年から新横浜駅前清掃に参加し、近年学校トイレ掃除ができなくなっているとの話を聞き、ＰＴＡ会長を務める横浜市立蒔田小学校の校長に相談してみますと、土曜参観日での開催提案をいただきました。六月二十七日、台風七号・八号が関東へ接近し、前日の地震や倒木などで開催が危ぶまれましたが奇跡的に実現。宮城、関西など全国から四〇名以上の仲間が応援に駆けつけてくださいました。土曜参観は休校となりましたが、校長、副校長、教務主任、児童支援専任の先生、キッズクラブの先生、保護者八名にご参加いただき感動しています。汚れが落ちて便器がきれいになるにつれ、自分の心まで磨かれていくように感じました。校長先生から、この取り組みを先生方や子どもたちへ積極的に伝えていくとの言葉をいただき、やって良かったと心から感じています。次回は児童も参加できるように計画します。

（穂坂光紀　蒔田小学校ＰＴＡ会長）

中部　静岡便教会

ＪＲ富士駅南口の街頭清掃を二〇一七年四月に始めて以来九年、三月二十二日に百回目を迎えました。富士市長、市議会議員二名、富士中学校ＰＴＡ会長をはじめ八〇名が参加、半数が小中高校生でした。木南一志さんが駆けつけてくださり、ご講話をいただきました。一年間早起きをして頑張った小学生八名に感謝状とお菓子を手渡しました。うち二名は幼稚園の時から八年間継続です。四月から進学・就職する小中高生六名は自信をもって体験発表をしてくれました。

百回で参加者数は四千六百名、発行したボランティア活動参加証明書は二千五百枚を超えます。静岡便教会を立ち上げて十六年目、街頭清掃は十年目、私自身一道を貫き続けて自信と信用を得ることができまし



た。これからも地域に根差した小さな実践活動を続け、若い人たちが利他の心を養い自己肯定感を高めるよう努めて参ります。

（柿島由和）



関西　西宮・二宮掃除に学ぶ会

西宮神社（えびす宮総本社）の境内を毎月第二日曜日の午前八時から庭園・側溝・トイレの三班に分かれて清掃しています。また、年に数回は時間を延長し、トイレ掃除を二時間かけて取り組むようにしています。六月十四日に開催した第二八一回目には、未就学児から小中高生、ミャンマーの方を含む四十五名が参加されました。いつも五、六組はご家族で参加してくださっています。清掃後は、有志で西宮神社の本殿に参拝し、境内のおかめ茶屋で交流を深めました。二〇〇一年に佐藤弘一さんたち三名で始まった当会は、今年の十一月に二十五周年を迎えます。「三十年にして歴史なる」の言葉を励みに、これからも参加者の皆様とともに、一つひとつの活動を丁寧に積み上げながら継続してまいります。

（黒田育伸）

関西　一般社団法人　兵庫県トラック協会

トラックドライバーによるゴミのポイ捨て、尿入りの「黄金のペットボトル」が問題視される中、五月三〇日の「ごみゼロの日」に、大阪府、京都府、兵庫県のトラック協会が清掃活動を行いました。（一社）兵庫県トラック協会（会長 木南一志 播磨掃除に学ぶ会）は、ＮＥＸＣＯ西日本など五団体と四十人で中国自動車道・社（やしろ）ＰＡで清掃活動を行いました。参加者は、強い悪臭が漂う中、草をかき分け、「黄金のペットボトル」数十本を含む三六〇本のペットボトル、四十五リットルのゴミ袋七〇袋分のゴミを回収しました。木南会長は「車線変更や道を譲ってもらったとき、後続車にハザードランプを点灯させ感謝を伝えるサンキューハザードは、昭和のトラックドライバーがあみだした素晴らしい運転習慣です。そのドライバーが尿入りペットボトルを捨てていると、メディアで取り上げられています。トラックドライバーのマナーを向上し、トラックドライバーが世の中を支えているということを社会に伝えていくために、この清掃活動を継続していきましょう」と挨拶がありました。なお、オフィスで働く人とは違いトラックドライバーは、ＳＡ・ＰＡがあっても大型トラックが停められる駐車マスがなければトイレを利用できない事情があることを付け加えておきます。

（編集室）



九州　糸島掃除に学ぶ会

当会は、ＪＲ筑前前原駅を日本一美しい駅にしようと二〇一六年に発足。これまで、筑前前原駅前を百十五回、同駅北口トイレを八十六回、志摩桜井の二見ヶ浦海岸を四十二回お掃除しています。五月一九日に十周年記念大会を開催。他団体「バトラン糸島」、「ついたち前原お掃除の会」も合流して四十人が集まり、筑前前原駅を中心に市内清掃を行ないました。三団体が十年にわたって連携して清掃活動を続けてきたことを誇りに思います。前原地区が日本の美化活動のお手本になるよう、これからも活動を続けていきます。



（馬渡　誠）

事務局だより

はじめまして。昨年より千種敏夫さんの後任として事務局長を拝命した品田美幸です。鍵山秀三郎氏が育んでこられた志を未来へ繋いでいくために努めますので、どうかご指導のほどお願い申し上げます。

さて、ニューヨークで長年街頭清掃を続けておられるＢＡＢ（Big Apple Beautifiers）様が二十周年を迎えられ、九月二〇日の記念街頭清掃には日本から有志が参加を予定しています。ＢＡＢ様は当会の所属ではなく設立時より独立した組織ですが、当会は誤った解釈で清風掃々三十四号において事実と異なる記載をしておりました。ここに深くお詫びを申し上げます。次号で二十周年記念交流報告とともに、改めてお伝えいたします。

（品田美幸）

情報公開

日本を美しくする会
2025年度収支報告および2026年度予算

「2025年度の収支分析」

① 赤字の最大原因は、主に収入減です。正会員：(予)106団体→(実)73団体
個人賛助会員：(予)400名→(実)329名
法人賛助会員：(予)141社→(実)127社
② 管理費の人件費増は、事業費に含めていた人件費を管理費に移したためです。
③ 委託費の増は、認定NPO資格失効の原因調査と、今後の体質改善のため、弁護士に調査及び提言を依頼したためです。弁護士による「再発防止等についての意見書」は前号（53号）およびホームページに掲載しています。
④ 上記弁護士費用をカバーするため、「清風掃々」の発行を一時的に年間4回から1回に削減し、事業費を大幅に削減し、経常費用全体を抑えることができました。皆様にはご不便ご心配をおかけしまして申し訳ございませんでした。
⑤ 事務経費・通信費光熱費は、認定資格再取得のため増加しました。（再取得ならず）
⑥ 事業費の中で、外部に委託している費用が大きいと分析しています。「清風掃々」関連、経理事務、WEB関連が対象です。弁護士の意見書に沿って、ガバナンスなど内部の運営体制の強化を図り、事務局体制を強化しつつ、会全体の経費を適正化することが求められています。

「2026年度の予算」について

① 収入(経常収益)は厳しく見ています。弁護士提言に沿って、内部の運営体制を強化しつつ、経費（経常費用）全体は低減して、赤字幅を縮小しています。
② 内部の運営体制強化として、外部に委託していた経理事務を内部に取り込みます。月次決算を行い、管理の質を向上します。
③ 「清風掃々」の費用を見直します。その他の広報媒体の目的を明確にしつつ、会員の皆様のご理解を得ながら、部数を適正化します。発行回数は年2回とします。
④ 当会の活動継続のためには、会員数の拡大が必要です。会員パンフレット、チラシを作成し、当会の理念・活動をご理解いただくように活用します。
⑤ 情報公開の強化として、新たに年次報告書を作成し、活動内容・財務を広く詳しく公開します。
⑥ ガバナンスを強化するために、会議体を変更しました。課題解決のため、全理事が委員会活動で活動します。

情報公開の意義　「清風掃々」第39号

NPO制度では、所轄庁の監督をゆるくし、その分「情報公開を通じた市民の監督を前提とする」とあり、事業報告書などは一般公開する義務があります。当会では、皆様によりわかりやすい形で情報公開します。

科　目	2025年度予算	2025年度実績	予実差	2026年度予算
Ⅰ経常収益				
1. 受取会費　正会員	2,120,000	1,460,000	▲660,000	1,500,000
個人賛助会員	2,660,000	2,153,000	▲507,000	2,200,000
法人賛助会員	6,200,000	5,935,000	▲265,000	6,000,000
2. 受取寄付金	460,000	672,000	212,000	0
3. 事業収益				
広告（HPバナー）	870,000	1,005,000	135,000	1,000,000
協賛金	990,000	140,000	▲850,000	0
スポンサー収入	550,000	10,000		0
「掃除道」販売	0	32,959		0
4. 受取利息	0	22,044	22,044	0
経常収益計	13,850,000	11,430,003	▲2,419,997	10,700,000
Ⅱ経常費用				
1. 事業費 ⑴指導援助	1,968,750	2,223,239	▲254,489	1,907,389
⑵普及啓発	2,881,725	1,925,476	956,249	2,715,048
⑶国際交流	2,248,750	1,189,246	1,059,504	906,499
⑷情報交換	1,658,750	1,026,983	631,767	1,276,499
⑸災害支援	500,000	890,972	▲390,972	899,499
事業費計	9,257,975	7,255,915	2,002,060	7,704,934
2. 管理費 ⑴人件費	365,000	1,692,528	▲1,327,528	1,949,250
⑵委託費	2,700,000	3,407,174	▲707,174	1,475,000
⑶地代家賃	290,000	223,372	66,628	223,500
⑷事務経費	785,000	897,374	▲112,374	850,000
⑸通信費光熱費	110,000	305,889	▲195,889	315,000
⑹慶弔費	50,000	55,208	▲5,208	50,000
⑺租税公課	70,000	70,000		70,000
管理費計	4,370,000	6,651,545	▲2,281,545	4,932,750
経常費用計	13,627,975	13,907,460	▲279,485	12,637,684
当期正味財産増減額	222,025	▲2,477,457	▲2,699,482	▲1,937,684
前期繰越正味財産額	49,382,541		0	46,905,084
次期繰越正味財産額		46,905,084	▲2,215,512	44,967,400

名言

惻隠 羞悪 辞譲 是非の心

「質を高める努力」

鍵山秀三郎

傲慢、無反省、忘恩。人間の「三悪」です。日本はここ何年かで「ここまできたか」と嘆きたくなるほど、人間の「質」が低下してしまいました。公共の電車の乗り方はその一例です。

最近は目的の駅に電車が着きドアが開いてから席を立ったり、棚の荷物を降ろし始める人が増えました。「支度」をせず、ギリギリまで楽をしようとするのです。当然、乗ってくる人の流れを妨げたり、ぶつかることも多くなります。以前も、あわてて降りる人はいましたが、わざとではありませんでした。最近の日本人は、分かっていながら平気で悪をやる。こういう人間を「無明の人」といいます。

日本の将来は暗い、暗いといわれますが、それは「自分さえよければいい」という無明の人ばかりの国へと、人間の質が低下したからにほかなりません。人口が減る中で、日本が国力を保っていくには、人間の質を高める以外にありません。人間の質を高めるということは人格を高める、心を磨くことです。

孟子は人間の条件として「惻隠、羞悪、辞譲、是非」の四つを挙げました。「惻隠」とは他者を思いやる心、「羞悪」は恥を知ること、「辞譲」は謙虚に譲る心、「是非」は正しいことと悪いことを判断する心です。かつての日本は今よりずっと貧しかったけれど、これらを備えた人間がたくさんいました。明治期に日本を訪れたある外国人は、「日本の庶民は、ヨーロッパでいえば、ごく一部の王侯貴族にしかない資質をみな備えている」と書き残しています。

日本人の質が落ち始めた原因の一つは、「この世に存在するすべてのものは測定でき、数値化ができる」というアメリカ式の理論を、無防備に導入したことにあります。

今の日本は学校の成績も、会社の業績もすべて数値化です。評価が一律で、簡単だからです。その一方で、数値化できない「一生懸命さ」や「譲る心」「人柄」などは評価されなくなり、切り捨てられるようになりました。とりわけ小泉内閣によりその傾向に拍車がかかり、日本は変質しました。

自分の任期中の利益しか考えない「私益」のリーダーは必ず行き詰まります。

いい仕事をして、得た物は後世に遺す。そうした偉大な先人たちが積み上げた恩恵の上に、現在の日本があるのです。今、人間の質を高める努力なくして、未来の子孫に遺せるものはありません。

目先のことにとらわれて楽をし、後で「やっておけばよかった」と思うよりも、少し痛い思いをしても「やっておいてよかった」と心穏やかに振り返ることができる、そんな生き方をリーダーがまず実践することが、日本の質を高める第一歩となります。

（モラロジー研究所『道経塾』№八五「心あるところに宝あり」より抜粋）

書　百々海　愛

名言解説

時政 和輝

「惻隠、羞悪、辞譲、是非の心」

この言葉は、古代中国の思想家・孟子が唱えた「性善説」の根底にある『四端の説』の一節です。原典には、次のように記されています。

「惻隠の心無きは、人に非ざるなり。羞悪の心無きは、人に非ざるなり。辞譲の心無きは、人に非ざるなり。是非の心無きは、人に非ざるなり。惻隠の心は、仁の端なり。羞悪の心は、義の端なり。辞譲の心は、礼の端なり。是非の心は、智の端なり。人の是の四端有る、猶ほ其の四体有るがごときなり」

（『孟子』公孫丑上）

孟子は、人間には生まれつき「四つの善の芽（端緒）」が備わっていると説きました。誰もが心の中に持っているこの小さな芽を手がかりに、日々養い育てることで、人間としての最上の美徳である「仁・義・礼・智（四徳）」が完成するとされています。揮毫にある四つの言葉は、それぞれ次のような「善なる心」を意味しています。

○惻隠の心―他人の不幸を見過ごせない、哀れに思う心【仁の芽】

○羞悪の心―自分の悪を恥じ、他人の悪を憎む心【義の芽】

○辞譲の心―他人に譲る謙虚な心【礼の芽】

○是非の心―正しいことと間違っていることを見極める心【智の芽】

人の善なる心を信じ、掃除を通して養い育てていきたいものです。

日本を美しくする会　本部世話人(理事)名簿

	役職(担当)	氏名	会社名	〒	住所	電話	FAX
理事	会長	冨田　浩志	(株)とみひろ	990-0031	山形県山形市十日町4-1-3	023-635-1212	023-635-1228
理事	副会長	白鳥　宏明	白岩運輸 (株)	414-0045	静岡県伊東市玖須美元和田729-36	0557-37-9327	0557-37-8058
理事	副*九州ブロック長	廣瀬　透	(有)学優舎	827-0003	福岡県田川郡川崎町1	0947-72-6298	0947-72-5599
理事	財務担当部長	塩貝　久	クリーンテックシオガイグループ本社	120-0047	東京都足立区宮城1-6-15	03-3919-3301	03-3919-6623
理事	広報担当部長	中島　セイジ	(株)QB総合研究所	111-0024	東京都台東区今戸1-2-10 JKビル1F	03-6802-4788	03-6802-4789
理事	北海道ブロック長	田村　健一	北ミート (株)	007-0826	北海道札幌市東区東雁来6条2-2-25	011-783-7111	011-783-7268
理事	東北ブロック長	伊藤　信幸	(株)ホットマン	982-0034	宮城県仙台市太白区西多賀4-4-17	022-243-5091	022-243-5094
理事	関東ブロック長	中鉢　悟	中鉢建設 (株)	241-0001	神奈川県横浜市旭区上白根町744-4	045-954-3497	045-954-3613
理事	中部ブロック長	杉浦　三代枝	スギ製菓 (株)	447-0857	愛知県碧南市大浜上町3-85-1	0566-45-2020	0566-45-2021
理事	北陸ブロック長	松木　延倫	土地家屋調査士事務所	918-8104	福井県福井市板垣1-523	0776-34-8648	0776-36-2906
理事	関西ブロック長	羽根　康英		639-2164	奈良県葛城市長尾282	0745-48-2682	0745-48-2682
理事	中国ブロック長	小西　敏之		710-0803	岡山県倉敷市中島173-9	090-4800-0524	086-465-3788
理事	四国ブロック長	田中　正志	ギノー味噌 (株)	791-3152	愛媛県伊予郡松前町大字永田松ノ隣345-1	089-984-2135	089-984-7300
理事	沖縄ブロック長	川畑　文夫	(有)カワバタ	904-2153	沖縄県沖縄市美里5-13-1	098-937-9122	098-938-8156
理事	事務局長	品田　美幸	日本を美しくする会	160-0023	東京都新宿区西新宿6-12-6-601	080-8552-7085	03-6304-5990
理事		渡辺　栄司	ワタケイ紙器(株)	136-0072	東京都江東区大島2-9-28	03-3682-6074	03-3682-6108
理事		時政　和輝		601-8411	京都府京都市南区西九条北ノ内町11	075-681-9166	075-662-0187
理事		鈴木　陽介	(税)ランニングパートナーズ	025-0097	岩手県花巻市若葉町2-18-16	080-5747-2450	
理事		前田　佳織		651-8142	京都府京都市樫原畔の海道1番地	090-3486-4274	
理事		斎藤　大輔		259-1117	伊勢原市東成瀬32-16ジーメゾン東成瀬イースト201	090-9132-9731	
理事	顧問	利　哲雄	日本企画 (株)	273-0005	千葉県船橋市本町6-21-16	047-426-0026	047-426-6071
理事	相談役	田中　義人	東海神栄電子工業 (株)	509-7201	岐阜県恵那市大井町630-1	0573-25-4414	0573-26-5040
監事		鍵山　幸一郎	(株)幸栄企画	154-0001	東京都世田谷区池尻2-37-12-701	03-5712-8808	03-5712-8810

(注)「副*」副会長

各地　代表世話人名簿

	会の名称	代表世話人	会社名	〒	住所	電話	FAX
海外	ブラジル	利　哲雄	日本企画 (株)	273-0005	千葉県船橋市本町6-21-16	047-426-0026	047-426-6071
	中国	陳　暁麗	泰邦 (株)	540-0012	大阪府大阪市中央区谷町3-4-5-801	06-6966-0028	06-6966-0029
	アメリカ	塩貝　久	クリーンテックシオガイグループ本社	120-0047	東京都足立区宮城1-6-15	03-3919-3301	03-3919-6623
	台湾	秋山　浩司	東海神栄電子工業 (株)	509-7201	岐阜県恵那市大井町630-1	0573-25-4550	0573-25-1861
	北海道	ブロック長　田村　健一					
1	札幌	田村　健一	北一ミート(株)	007-0826	北海道札幌市東区東雁来6条2-2-25	011-783-7111	011-783-7268
	東北	ブロック長　伊藤　信幸　副ブロック長　伊藤　忠行					
2	青森	中村　ゆう	(株)三和堂内	038-0003	青森県青森市大字石江字三好69-1	017-718-1721	017-718-1721
3	秋田	佐藤　正俊		010-0821	秋田県秋田市濁川字井戸尻45-8	080-8204-4090	
4	岩手	鈴木　陽介	(税)ランニングパートナーズ	025-0097	岩手県花巻市若葉町2-18-16	019-606-3115	019-606-3133
5	宮城	伊藤　忠行	(株)ホットマン	982-0034	宮城県仙台市太白区西多賀4-4-17	022-243-5091	022-243-5094
6	多賀城	小畑　貞雄		985-0832	宮城県多賀城市大代1-13-3	022-364-4027	022-364-4027
7	山形	金子　昌弘	(株)エム・エス・アイ	990-2473	山形県山形市松栄1-5-7	023-647-3966	023-647-3967
8	会津	五十嵐新典	(株)山新商店	965-0059	福島県会津若松市インター西76	0242-23-1414	0242-22-1833
9	たむら	白石　高司	(株)白石モータース	963-4312	福島県田村市船引町船引字城ノ内64	0247-82-0232	0247-82-0215
10	郡山	佐藤　克敏	(株)ヨークベニマル内	963-8543	福島県郡山市谷島町5-42	024-983-3100	024-983-3125
	関東	ブロック長　中鉢　悟　副ブロック長　波多野　勝彦　渡辺　栄司　古旗　達也　原田　孝之　川野　士郎					
11	茨城	小倉　和良		319-0106	茨城県小美玉市堅倉1-2	0299-48-0319	0299-48-0319
12	古河	田口　精二	シューズサロンタグチ	306-0037	茨城県古河市錦町1-82	0280-22-0475	0280-22-0465
13	栃木	原田　孝之	(株)mikan	329-0114	栃木県下都賀郡野木町野木2061	0280-56-0011	0280-56-0021
14	足利	福田　茂夫	(株)ヒューマンネットワーク	326-0826	栃木県足利市借宿町281-12	0284-73-1270	0284-73-2757
15	十日町	丸岡　武	(株)村山土建	948-0031	新潟県十日町市本町1-71-1	025-752-3721	025-752-3891
16	寺泊	菊地　正明		940-2523	新潟県長岡市寺泊田頭700-2	0258-75-3365	0258-75-3365
17	埼玉	大川　浩司		330-0802	埼玉県さいたま市大宮区宮町4-69-1	080-6522-9099	
18	京葉	木村　智博		276-0033	千葉県八千代市八千代台南1-16-6-206	090-8949-0097	
19	山武	野老　真理子	大里綜合管理 (株)	299-3236	千葉県大網白里市みやこ野2-3-1	0475-72-3473	0475-72-4001
20	れいたく	冨田 裕之	モラロジー研究所	277-0065	千葉県柏市光ヶ丘2-1-1	047-173-3325	047-173-3324
21	茂原	御園　和也	御園建設(株)	297-0029	千葉県茂原市高師521-6	0475-23-3732	0475-24-3481
22	東京	渡辺　栄司	ワタケイ紙器(株)	136-0072	東京都江東区大島2-9-28	03-3682-6074	03-3682-6108
23	神奈川	中鉢　悟	中鉢建設 (株)	241-0001	神奈川県横浜市旭区上白根町744-4	045-954-3497	045-954-3613
24	大和	山崎 貞雄	(株)ニッコー	242-0025	神奈川県大和市代官1-10-3	046-269-0217	046-269-0284
25	山梨	前濱　勝二		400-0404	山梨県南アルプス市古市場250-3	055-287-6368	055-287-6368

	中部	ブロック長　杉浦　三代枝　副ブロック長　白鳥　宏明　木下　豊					
26	伊東	白鳥　宏明	白岩運輸 (株)	414-0045	静岡県伊東市玖須美元和田729-36	0557-37-9327	0557-37-8058
27	磐田	金原　一平	キンパラ(株)	438-0086	静岡県磐田市見付1963-11	0538-35-5404	0538-34-0191
28	森町	榊原　淑友		437-0026	静岡県周智郡森町一宮94	0538-89-7810	0538-89-7810
29	浜松	黒柳　誠	(一社)未来学校	434-0042	静岡県浜松市浜名区小松906-1	080-4166-8798	
30	小布施	木下　豊	文屋	381-0204	長野県上高井郡小布施町飯田45	026-242-6512	026-242-6513
31	中南信	宮之本　伸		390-0816	長野県松本市中条13-3-12	070-2665-2077	
32	大正村	田中　義人	東海神栄電子工業 (株)	509-7201	岐阜県恵那市大井町630-1	0573-25-4550	0573-25-1861
33	豊橋	印南　道孝		440-0025	愛知県豊橋市井原町45-7	0532-62-0401	0532-62-0401
34	豊田	古井　弘二	(株)道千	471-0013	愛知県豊田市高上1-6-7	0565-80-1681	0565-80-3301
35	西三河	杉浦　三代枝	スギ製菓(株)	447-0857	愛知県碧南市大浜上町3-85-1	0566-45-2020	0566-45-2021
36	名古屋	大塚　久利		464-0846	愛知県名古屋市千種区城木1-25-2	090-8957-3632	052-751-7558
37	三重	西川　徹	行政書士オフィスプロミネンス	519-0503	三重県伊勢市小俣町元町504番地1階	090-2777-9320	
	北陸	ブロック長　松木　延倫　副ブロック長　市村　昭代史　藤本　雅明					
	副ブロック長	市村　昭代史	村昭繊維工業 (株)	929-1332	石川県羽咋郡宝達志水町北川尻73	0767-28-2421	0767-28-3773
38	おやべ	藤本　雅明	ふじもと自力研究所	932-0055	富山県小矢部市西町2-28	0766-68-0563	0766-68-0563
39	福井	松木　延倫	土地家屋調査士	918-8104	福井県福井市坂垣1-523	0776-34-8648	0776-36-2906
40	石川	森川　和重	協同組合土質屋北陸	920-0059	石川県金沢市示野町西7	076-268-4666	076-268-4510
41	かが能美	山口　健次	(有)山口陶業社	923-1121	石川県能美市寺井町レ131	0761-57-1045	0761-57-1040
42	モナの森	岸野　守雄	箔里仏具製作所	923-0931	石川県小松市大文字町66	0761-22-1339	0761-23-3171
	関西	ブロック長　羽根　康英　副ブロック長　田中　喜一朗　町田　豊彦					
43	滋賀	後藤　敬一	滋賀ダイハツ販売(株)	520-3046	滋賀県栗東市大橋4-1-5	077-551-0081	077-551-0071
44	高島	川越　清司	(有)宏和商事	520-1623	滋賀県高島市安曇川町下小川420	0740-32-1091	0740-22-1577
45	彦根	田中　喜一朗		527-0107	滋賀県東近江市今在家町286	050-5802-1485	0749-45-1867
46	京都	秦(近藤)由見子		606-8107	京都市左京区高野東開町1-7-12-405	080-1415-3342	
47	奈良	羽根　康英		639-2164	奈良県葛城市長尾282	0475-48-2682	0745-48-2682
48	大阪	松原　真紀		589-0005	大阪府狭山市狭山4丁目2300-1	080-3115-8831	
49	泉州	丸山　春樹		598-0002	大阪府泉佐野市中庄1874-1	090-2119-8493	
50	和歌山	平松　裕司	平松接骨院	640-8125	和歌山県和歌山市島崎町7-5-3	073-425-9101	073-425-9101
51	西宮・三宮	黒田　育伸	レイズ社会保険労務士事務所	651-0086	兵庫県神戸市中央区磯上通8-1-8-502	090-9884-0616	078-855-8413
52	尼崎不尽	町田　豊彦		561-0853	大阪府豊中市服部南町2-11-18	078-855-8412	06-6866-6105
	中国	ブロック長　小西　敏之　副ブロック長　稲元　正敏					
53	岡山	小西　敏之		710-0803	岡山県倉敷市中島173-9	090-4800-0524	086-465-3788
54	広島	井辻　栄輔	井辻食産(株)	731-0301	広島県安芸高田市八千代土師67-2	0826-52-7121	0826-52-7101
55	東広島	上野　和浩	上野物産(株)	739-0007	広島県東広島市西条土与丸3-1-15	082-423-2220	082-422-8022
56	福山・尾道	岩城　勇二	ソニー生命保険 (株)	720-0811	広島県福山市紅葉町1-19-4F	084-927-3731	084-927-3744
57	安芸高田	山田　正治	(株)杉野自動車	731-0523	広島県安芸高田市吉田町山手1346-1	0826-43-0600	0826-43-0707
58	三原	高山　弘子		723-0004	広島県三原市館町1-3-3	090-2846-6765	
59	呉	中村　隆行		737-0003	広島県呉市阿賀中央4-1-13-705	090-9417-8970	
60	松江出雲	坂本　美由紀	みゆき農園	693-0011	島根県出雲市大津町1393-4	0853-21-1589	0853-21-1589
61	浜田江津	稲元　正敏		697-0003	島根県浜田市国分町600	0855-28-0574	0855-28-0574
62	益田	岡本　昇太	(株)キヌヤ	698-8503	島根県益田市常磐町4-38	0856-23-0865	0856-23-1131
63	萩	柴田　千恵子		758-0011	山口県萩市椿東4698-15	0838-22-9514	0838-22-9514
64	岩国	三好　祐司		743-0042	山口県光市宝町5-18	090-7991-8859	0833-71-3581
65	山口市	重枝　昭彦	朴の森　鍵山記念館	754-0894	山口県山口市佐山131-1-2	083-989-3884	083-989-3884
66	宇部	宮川　洋司		755-0083	山口県宇部市南小羽町1-8-7	080-2888-4678	0836-35-8207
67	下関	松村　久		751-0832	山口県下関市生野町2-18-6	083-252-4980	083-252-4980
	四国	ブロック長　田中　正志　副ブロック長　鍛谷　幸一					
68	香川	久保　勝是		762-0025	香川県坂出市川津町729	0877-45-1254	0877-45-1254
69	阿南	古川　博	古川運送(有)	779-1620	徳島県阿南市福井町吉谷54-1	0884-34-3070	0884-34-2868
70	徳島	鍛谷　幸一	(株)ふじや	779-3117	徳島県徳島市国府町日開字東456-2	088-642-0050	088-642-9888
71	愛媛	田中　正志	ギノー味噌(株)	791-3152	愛媛県伊予郡松前町大字永田345-1	089-984-2135	089-984-7300
72	四国中央	毛利　久美子		799-0101	愛媛県四国中央市川之江町515-1-103	0896-58-5665	0896-58-5665

	九州	ブロック長　廣瀬　透	副ブロック長　鎌田　安典(連絡先　鎌田　善政に同じ) 中尾　康二				
73	北九州	大下　英勝	新星電機(株)	805-0008	福岡県北九州市八幡東区枝光本町7-7-901	093-980-7375	093-980-7375
74	筑豊	廣瀬　透	(有)学優舎	827-0003	福岡県田川郡川崎町1	0947-72-6298	0947-72-5599
75	糸島	馬渡　誠	浮岳さん	819-1116	福岡県糸島市前原中央2-7-8-901	090-4583-7773	092-846-5288
76	筑後・八女	矢加部　尚武	(有)アークシティ	833-0012	福岡県筑後市溝口762-1	0942-48-5531	0942-53-6777
77	大分	矢野　雅則	合同会社　矢野商店	870-1137	大分県大分市宮崎台3-2-2	097-567-1772	097-567-1772
78	日田	長野　次郎	(株)光会館	877-0071	大分県日田市中本町7-12	0973-26-3077	0973-23-0158
79	熊本	蓑田　修治		860-0061	熊本県熊本市西区上高橋2-16-15	090-3328-1150	096-329-8308
80	八代	松永　謙悟	ふじ彩 (株)	866-0873	熊本県八代市横手町1680-2	080-6428-5942	0965-35-8804
81	人吉	田中　裕二	(株)りーな21	865-0005	熊本県人吉市上青井120-4	0966-22-1123	0966-22-1103
82	宮崎	奥野　幸子		880-0944	宮崎県宮崎市江南2-31-14	0985-51-3788	0985-52-7978
83	長崎	梅元　建治	ナガサキベイデザインセンター	850-0911	長崎県長崎市東山手町8-18	095-820-5598	095-820-5598
84	佐世保	前田　琢也	(株)セントラルホテル佐世保	857-0872	長崎県佐世保市上京町3-2	0956-25-0001	0956-22-8435
85	鹿児島	鎌田　善政	鎌田建設 (株)	899-4462	鹿児島県霧島市国分敷根141	0995-46-3000	0995-46-3114
86	さつま川内	小城　年久	小城製粉 (株)	895-0041	鹿児島県薩摩川内市隈之城町1892	0996-22-4161	0996-20-3973
87	指宿えい	土橋　真也	めぐみ写真館	891-0701	鹿児島県南九州市頴娃町郡307-3	0993-36-0148	0993-36-0510
88	徳之島	安田　司		891-7102	鹿児島県大島郡徳之島町亀徳986-8	090-2519-9308	
89	とんぼろ	冨吉袈裟右衛門		811-2247	福岡県槽屋郡志免町向ヶ丘2-4-3	090-3190-5490	
	沖縄	ブロック長　川畑　文夫	副ブロック長　佐和田　健二				
90	やんばる	川畑　文夫	(有)カワバタ	904-2153	沖縄県沖縄市美里5-13-12	098-937-9122	098-938-8156
91	沖縄中部	川畑　文夫	(有)カワバタ	904-2153	沖縄県沖縄市美里5-13-12	098-937-9122	098-938-8156
92	沖縄南部	佐和田　健二	(株)てこだ	901-2104	沖縄県浦添市当山2-5-6	098-943-3922	098-879-1505

便教会　名簿

	地域	会名称	代表者	〒	住所	電話	FAX
1	宮城	宮城便教会	村上　幸宏	983-0006	宮城県仙台市宮城野区白鳥2-15-10	022-258-4641	022-258-4641
2	群馬	群馬便教会	新井　国彦	370-0042	群馬県高崎市貝沢町447	090-8871-6929	
3	東京	東京便教会	山﨑　敏哉	201-0013	東京都狛江市元和泉1-19-4-210	080-3012-1519	
4	埼玉	埼玉便教会	村田　陽	340-0006	埼玉県草加市八幡町64-3	090-9146-2626	
5	静岡	静岡便教会	柿島　由和	416-0947	静岡県富士市宮下414-2	090-9932-5969	
6	長野	長野便教会	太田　智明	383-0021	長野県中野市西2-9-2	090-2238-2934	
7	愛知	愛知便教会	高野　修滋	445-0802	愛知県西尾市米津町天竺桂27	090-4215-1727	
8	大阪	大阪便教会	西橋　聖次	538-0044	大阪府大阪市鶴見区放出東1-24-24	090-7309-4821	
9	兵庫	兵庫便教会	木田　重果	665-0034	兵庫県宝塚市小林5-3-43-412	090-4293-3428	
10	京都	京都山城便教会	小笹　大道	602-8173	京都府京都市上京区金馬場町163	090-8467-9638	
11	三重	伊勢便教会	上野　祐一	516-0043	三重県伊勢市藤里町68-207	080･1615-7317	0596-65-7209
12	九州	福岡便教会	泊　宏治	819-0036	福岡県福岡市西区吉武403-23	090-2963-3951	
日本を美しくする会　本部事務所				160-0023	東京都新宿区西新宿6-12-6-601	03-6304-5880	03-6304-5990

本書を読んでくださった方へ

「子どもたちに体験させたいな」「自分もやってみたいな」とお感じになりましたら、
まずこの名簿の「各地の代表世話人」あるいは「便教会の代表者」に連絡をされませんか。
どうぞ、勇気をもって一歩を踏み出してください。

●全国の先生方へ

「子どもたちにトイレ掃除を体験させたいな」と希望される先生へ。
時間は60～180分。準備物は、濡れてもよい靴、マスクなど。
詳細はご相談ください。

●一般の方へ

様々な人々と交流することで、気づきを得られることと思います。
お近くの掃除の活動に、ぜひご参加ください。



絵　青田菜生

各会の代表世話人、便教会の代表者の方へ

もし先生や一般の方から問い合わせがありましたら、ぜひ丁寧に温かく迎えてあげてください。
掃除の活動が、教育分野や一般に広まるために、ご支援のほどよろしくお願いいたします。